



9月1日は防災の日 防災訓練に参加しましょう ～災害に備え、防災知識の向上をめざす～

防災課

わが国では、毎年のように地震、台風、大雨などの自然災害が発生し、各地で多くの被害が出ています。なかでも、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、地震と津波等により死者・行方不明者が2万1,000人を超える甚大な被害が発生しました。

また、首都直下地震や南海トラフ巨大地震といった大規模地震の切迫性も指摘されています。

さらに、近年では局地的大雨やこれに伴う土砂災害、火山噴火、地震による被害が多発しており、平成26年8月に広島県で発生した、大規模な土砂災害では死者が70人を超える甚大な被害が発生しました。また、平成26年9月に長野県御嶽山で発生した火山災害で死者50人を超える被害が生じました。

このような状況の下、被害を最小限に抑えるためには、国民一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけ、いざというときに落ち着いて的確な行動をとることが重要です。また、災害に対する備えは日ごろの防災意識や防災訓練の体験によって培われますので、そのためにも、各地方公共団体、企業、地域コミュニティなどで行われる防災訓練に積極的に参加することが望まれます。

防災訓練では、情報の収集伝達、避難・誘導、初期消火、応急救護、地震体験など実践的な対応を経験することにより、一人ひとりが災害発生時の対応策を身につけることができます。

国や地方公共団体では、毎年9月1日の「防災の日」や8月30日から9月5日までの「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」を中心に防災訓練を行いますので、積極的に参加し、いざという時に対応できる力を身につけましょう。



平成26年総合防災訓練
岩手県宮古市提供

*防災訓練の日程は地域によって異なりますので、詳細はお住まいの地方公共団体にお問い合わせください。

〈 いざというときの備え確認チェック☑ 〉

- 非常持ち出し品の準備、指定緊急避難場所までの順路の確認
 - 次の物はすぐに持ち出せるように用意しましょう。
現金、救急箱、懐中電灯、ライター、電池、毛布、食品、飲料水、ラジオなど
 - ※なお、実際の避難の際は、火災を防ぐためガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切ることが重要です。
- 消火器の正しい使い方などの習得
 - 消火器は初期消火に有効なので正しい使い方を覚えましょう。
- 軽いけがの処置など、協力して行う応急救護の方法を学ぶ
 - 消防署などで行う救命講習会では、軽いけがの処置をはじめAEDを使用した心肺蘇生法について習得できますので、進んで参加しましょう。
- 家具等の転倒・落下防止など、自分たちで事前に備えとしてできることを実行する
 - 自分の身は自分で守る、自分たちのまちは自分たちで守る、という意識を持って生活しましょう。
- 正しい情報の入手方法と家族や近隣の人の安否情報を確認する方法を学ぶ
 - 携帯電話、インターネット、ラジオ、防災行政無線などで正しい情報を入手しましょう。
 - 毎月1日・15日や防災週間などで災害伝言ダイヤル(171)が体験利用できるので、使い方を確認して、いざというときに大切な人の安否情報を確認できるようにしましょう。
- 地域住民等で協力して行う救出活動の方法を学ぶ
 - 大規模な災害時には消防車や救急車がすぐに現場に向かえない場合もあるため、身近にあるノコギリ、自動車のジャッキ、ボールなどを使用し、建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人を地域のみんが協力し合って救出できるようにしましょう。

総務省消防庁 生活密着情報 「地震などの災害に備えて」をぜひ参考にしてください。

〈リンク先〉 <http://www.fdma.go.jp/html/life/>

地域で行われる防災訓練へは、自分の住んでいる地域の方々と共に“いざという時どうするか”という心構えで参加し、家族みんなで防災について話し合しましょう。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 吉岡
TEL: 03-5253-7525